



2016-2017年度 主題

- 国際会長 : Joan Wilson "Our Future Begins Today"  
 「我々の未来は、今日から始まる」
- アジア会長 : Tung Ming Hsiao "Respect Y's Movement"  
 「ワイズ運動を尊重しよう」
- 東日本区理事 : 利根川恵子 「明日に向かって、今日働こう」  
 湘南・沖縄部長 : 若木一美 「あなたが退会しない理由は？」  
 ~明るく・楽しく・元気よく~
- クラブ会長 : 林 茂博 「仲良く、楽しく、無理をせず」  
 ~今日という日を大切に~



今月の聖句

わたしたちは知っているのです、苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むということ。希望はわたしたちを欺くことはありません。わたしたちに与えられた聖霊によって、神の愛がわたしたちの心に注がれているからです。ローマの信徒への手紙5：3-5

2017年4月本例会

日時: 4月28日(金) 18:30-  
 場所: かけはし都筑  
 司会: 岡崎さよ子/受付:  
 <<プログラム>>  
 開会点鐘 会長  
 ワイズソング/ワイズの信条  
 今月の聖句 相賀チャブレン  
 ゲスト・ビジター紹介  
 会長挨拶  
 卓話: 長和 義雄さん (P5参照)  
 「高齢者福祉」  
 YMCA報告 山中担当主事  
 Happy Birthday  
 岡田勝美 鈴木恭子 福島佐世子  
 各種アピール  
 閉会点鐘 会長  
 ~~~~~  
 終了後、「ガブリエル」にて  
 会食・懇親会を行います。

巻頭言

副会長 今城 宏子

「球根の中には」讃美歌21-575 作詞・作曲ナタリー・スリース

- 球根の中には 花が秘められ、  
 さなぎの中から いのちはばたく。  
 寒い冬の中 春は目覚める。  
 その日、その時を ただ神が知る。
- 沈黙はやがて 歌に変えられ、  
 深い闇の中 夜明け近づく。  
 過ぎ去った時が 未来を拓く。  
 その日、その時を ただ神が知る。
- いのちの終わりは いのちの始め。  
 おそれは信仰に 死は復活に、  
 ついに変えられる 永遠の朝。  
 その日、その時をただ神が知る。

の文を書いています時、都内では桜が満開というニュースが放映され、あちこちでお花見を楽しむ光景が見られています。横浜でも少し遅れて桜の名所と言われている公園や並木が満開になってきました。そして「花と緑の祭典、よこはまフェア」が開催中です。横浜YMCAの隣、横浜公園には16万本のチューリップ花壇が設けられ、春爛漫の雰囲気いっぱいです！冬の間、地中で準備していた色とりどりのチューリップの花絨毯です。

冒頭にご紹介した讃美歌「球根の中には」は讃美歌21のなかでも人気No.1といわれ、分かり易い歌詞と優しいフォークソングのような旋律で多くの人々に親しまれています。レントからイースターに良く歌われる讃美歌ですが、日本の四季の移り変わりにあわせても味わい深いものがあるように思います。一人ひとりの歩みの中には喜びの時や嬉しい時があれば、耐える時や苦しい時もありますが、闇の後には夜明けがあり冬の後には春があることを確信し、希望が与えられます。

クラブとしての歩みの中にも様々なできごとがありますが、いつも支えあい助け合って楽しいクラブ生活をおくっていくことができますよう、そしてYMCAの良きサポーターとして奉仕できますよう、復活の主イエス・キリストに倣って歩むことが少しでもできますよう、イースターの喜びの時に祈りを新たにしたいと思います。

前月のデータ

|      |     |        |     |       |      |         |
|------|-----|--------|-----|-------|------|---------|
| 例会出席 | 19名 | 在籍会員数  | 21名 | 各種記録  | 前月   | 累計      |
| メンバー | 16名 | 月間出席数  | 19名 | 使用済切手 | 0g   | 60g     |
| ビジター | 1名  | メーキャップ | 3名  | プルタブ  | 10kg | 34.4kg  |
| ゲスト  | 2名  | 月間出席率  | 90% | スマイル  | 0円   | 80,692円 |

## 3月度本例会報告

報告者 三木直子

日時 :3月24日(金) 18:30~  
場所 :かけはし都筑

- ・受付(報告書)三木 司会:岡田K
- ・出席者:  
(メンバー)

相賀、今城T・H、岡崎、岡田K・M、  
久保、胡麻尻、鈴木K・S、辻Ts、  
林S・M、福島、三木、横田

(ゲスト・ビジター)

若木一美(湘南沖縄部長)  
瀬谷智明(卓話)、野村民枝

○開会点鐘、ワイズソング・信条に続いて相賀牧師により今月の聖句朗読(マタイによる福音書 12:18,20) 祈禱が行われました。「人の痛みを放っておけない心を持つこと。共感して手を差し伸べ、分かち合っていくこと、、、」

○会長挨拶に続いてゲスト・ビジター3名の紹介がありました。入会式立ち合いの若木湘南・沖縄部長、卓話者の瀬谷東本郷ケアプラザ館長、そして岡崎ワイズの友人野村さんです。

○胡麻尻眞佐さん入会式

林会長司式、若木部長の立会のもとで入会式が行われました。司式者より、ワイズの活動を理解していただけるよう、奉仕仕活動の内容、意義をわかりやすく説明があり、その後、入会の宣誓が行われ無事入会式が執り行われました。



○卓話「東本郷での一年」:東本郷ケアプラザ館長瀬谷智明(リリ)さん

●YMCAに就職した当時は予備校と健康事業が大きな柱でした。また港北ニュータウンもできて、社会の流れが大きく変わり始めた。その後いろいろな経験をした。

●東本郷ケアプラザは指定管理を引き継ぐ形で1年が過ぎた。同地



域には特養老人ホーム、ケアプラザが多くあり10社近くの中からYMCAが選ばれた。

●それだけ地域の人たちの福祉事業への要望は高く、早急な地域ネットワークの引継ぎと構築が望まれる。

●事業として

- ・地域の人との繋がり:ふるさと祭り、ウォーキング、健康体操
- ・地域諸団体や委員会との連携、協力
- ・学校、行政、他ケアプラザなどとの連携
- ・主催事業:落語、子育て支援、コンサート、ふれあいフェア、バザー、そば打ち、
- ・新たな取り組み:ピンポンサロン、
- ・デイサービス

ワイズに期待することは、歌声広場、手芸などの趣味教室、話し相手、キリスト教理解の社員研修、子育て支援、人材紹介、等。

一方、ケアプラザからワイズへの協力も考えられる。東本郷ケアプラザは第4日曜日が休みて、朝9:00-夜21:00まで開いています。先ずは気楽に遊びに来てください。

○お誕生日 3/22:相賀ワイズ 3/31:辻Taワイズ

○YMCA報告 4/14YMCA熊本・東北復興応ナイター、維持会費納入、

○各種アピール

3/25鎌倉クラブ25周年、5/13たんぼぼクラブ15周年、6/3-6/4東日本区大会、熱海グローリークラブ竹内さんの訃報、ブリテン原稿依頼等。

閉会后、ゲスト・ビジター3名を囲んで会食・懇親会を「ガブリエル」で行いました。

(完)



入会式を終えた胡麻尻さん(中央) 林会長(左) 若木部長(右)



## 《報告》 鎌倉ワイズメンズクラブ創立25周年記念例会に出席して

日時：2017年、3月25日（土）13:30～

場所：鎌倉市福祉センター

池田光司会長による開会点鐘で記念例会開幕。ワイズソング・信条、賛美歌、聖書朗読に引き続き、田中ワイズによる祈祷（概要：今、世界そして日本においてもワイズメンズクラブは多難な時にある。もう一度ワイズメンズクラブが誕生したときの事を思い起こし、原点に戻りその歩みを進めていく事ができる様にお導き下さい）筆者も、2010年に解散したノースクラブへの思いと重ねて祈った。

次いで、東日本区利根川理事よりの挨拶があった。

- 今期、「東日本区のメンバー数を1000名に」の目標をかかげ、多くのクラブを訪問した。
- 特に小規模のクラブであっても人数以上の働きをしているクラブが数多くある事を知り頼もしく思う。
- 鎌倉当クラブも小規模ではあるが、25周年記念誌をみるかぎり、立派な働き、充実したクラブであることが良く分かる。
- 25周年を通過点とし、ますます発展されることを祈ります。

引き続いての、阿部史郎先生による卓話「手を取り合えばもっと多くのことができるーワイズは出会いの場」は、易しく、噛んで含めるようなお話ぶりは、聞く者の心を強く引き付けるものであった。要旨；

- 「おせんべいを半分に割ったとき、母親は必ずおおい方を子供に与える」「エサは仔馬から先に与える」「両手足がなく生まれた子供への母親の第一声は、まあなんと可愛い！」
- これが真の母親の姿であり、子供は親に愛され、愛された子は人を愛するようになります。一方、愛されなかった子が人を愛するようになる事は簡単ではありません。
- 阪神・淡路大震災では55名、東日本大震災では241名のご両親を亡くされた子供さんがいますが9割を超え誰かにひき取られていった。アメリカでは76%

オーストラリアも94%、スウェーデンでは100%の里親希望がある。

- 日本においても福祉に力を入れ、これらの充実を図りたいものです。
- 第二次世界大戦でのドイツの占領下のデンマークにいたユダヤ人を国王が救った事、アメリカの旅先で車椅子に奥さんを乗せエレベーターに乗ろうとした時に、混み合っていたが何人かの人が降りてスペースを作ってくれた。
- これらが市民社会における市民感覚だと思う。残念ながら日本では未だあまり育っていない。

阿部先生は、この他いろいろな角度から例をあげてYMCAが果たす役割、ボランティア精神、市民社会における横のつながりの大切さを話され大変勉強になった。

記念撮影・休憩の後、千葉裕子ワイズの司会で第2部、交換会となり、以下各氏が登壇し、祝辞、挨拶を述べられた。

横浜YMCA茂木理事、足利クラブ諏訪会長、DBC先の芦屋クラブ上野さん、柏原次期会長、クラブチャーター時の日本区理事・加藤ワイズ、若木湘南沖縄部長。最後にチャーターメンバーとして活躍された御喜家ミドリさんの元気な楽しいトークで大変盛り上がった。

記念品贈呈の後池田会長による鎌倉ワイズの25年間でたどるスライドショーを観て充実したクラブの歴史を知る事ができた。

最後に田中義宣ワイズの点鐘で閉会。

その後、市内の洒落た居酒屋さんに場所を移し、会費制のお祝い会が行われ、旧交が暖められ、話に花が咲き、懐かしく、楽しい一日が終わりました。

※記念例会出席者：今城T、岡田K+M、久保、鈴木S、辻Ts、横田、林S（8名）  
（久保勝昭 記）



《前頁より続く》

## 鎌倉クラブ創立25周年記念例会



### Photo Album

(左上) 挨拶をする  
池田光司会長

(右上) 当日の卓話者  
いつもお元気な、阿部  
史郎先生

(右下) つづきクラブ  
の出席者面々と池田会  
長、利根川恵子区理事



(記念例会後の懇親会)



### 《報告》 4月度事務例会

報告者 岡田 美和

日時:4月11日(火)18:00~19:45

場所:田園都筑教会

出席者: 今城 T・H、岡崎、岡田 K・M、久保、  
胡麻尻、鈴木 S・K、辻 Ts、林 S・M、福島、  
横田 (14名)

◆ 開会・黙祷

◆ 会長挨拶 6/3~6/4東日本区大会(川越)に参加  
しましょう。

◆ 協議事項

- \* 今城H次期会長より次年度クラブ内役割分担(案)を提示され、原案通り了承した。なお、ロースターに掲載する役割は調整する。
- \* 4月本例会は長和義雄さんによる卓話「高齢者福祉」。ゲスト・ビジターが多数参加予定。
- \* 今月例会は、司会:岡崎(司会)、受付:鈴木S(報告を担当)

◆ 月間の主な行事

4/23 横浜北YMCA創立40周年記念会  
(14:00~16:00)

5/24 都筑区災ボラ総会:横田出席予定

5/26~5/27 富士山例会

5/27 熱海グローリークラブ竹内さんお別れ会  
(林S+M、辻Tsが出席予定)

5/27 横浜YMCA会員総会

6/4 北YMCA記念コンサート

◆ CS活動の確認・連絡

みんなの家、アーモンド、傾聴ボラ、調理ボラ、送迎ボラなど定例通り。

◆ 報告事項

- \* 第3回区役員会報告(辻Ts)
- \* 東日本区定款改訂委員会(辻Ts委員長)が作業を終え、区理事に改定案の提案があった。新しい定款前文案など、改訂委員会の長年にわたる努力がの結果につき辻Tsより報告があった。
- \* 部則検討委員会報告(林S)

閉会後は例会出席者全員が小雨降る花冷えの夜、いつもの中華料理(一心)にて大いに話が弾み、暖かい会食を楽しみました。帰りは雨も上がっていました。

《IBC》

デンマーク ラナースクラブからのお便り

つづきクラブの皆さま

デンマークには「便りがないのは良い便り」という諺があります。というわけで、この便りも大変お待たせいたしました。

さて、ラナースクラブのうれしいニュースと残念なニュースをお伝えします。

私たちは、今年に入ってクラブの将来をどうするかを話し合いました。その結果、今年の7月1日から、クラブを「混合クラブ」とし、女性会員を受け入れることができるようにしました。これにより、現在17名に過ぎない会員を増やすことが期待できます。

この1月には会員が1人、健康上の理由で退会しました。それはこの数年間、話題になっていた案件でしたので、大きな決断を必要としました。

数年前、私たちはボーイスカウ

ト等によって使用されていたキャンプ場を売却し、その代金を基金として、地域の青少年のために用いることにしました。たまたま、ラナースYMCAサッカークラブが、障がい者向けの人工芝付きのサッカー場を求めていますので、私たちは添付した写真のようなサッカー場（その大半）を提供しました。

また私たちは、来年夏に計画されている大規模な合同キャンプに参加を予定している多くのボーイスカウトを支援しています。デンマークのボーイスカウトは、YMCAを含め40,000ほどあり、一緒にキャンプを実施していますが、中にはテントが足りないチームもありますので、私たちが資金援助を行っているのです。

さらに私たちは、アフリカにおける支援団体、デンマーク国内のYMCAのほか、MAFにも支援金

を出しています。MAFというのは、飛行場がなく、離着陸用の草原滑走路しかない地域での小型機による輸送を担当している国際的な空輸奉仕団体です。

これまでラナース市内の2クラブと共同で開催してきた中古品販売は、大きな成果を上げてきましたが、今般終了することになりました。その理由は、市当局がこのアイデアを活用して新しい組織を立ち上げ、そこで職のない人びとを雇用して、この事業を始めることにしたからです。

私たちは4月1日（土）に最後の中古品販売店を出しますが、市当局による新しい事業が失業者対策として成功することを願っています。

6月にはデンマーク区大会が開催され、ブルガリアのIBCメンバーも参加してくれることになっています。

暦の上では春とは言いながら、ここデンマークはまだ寒く、雨模様で良い天気ではありません。しかし、もうすぐ天気は良くなり、太陽の光を享受することができます。つづきクラブの皆さんも同様だと思います。

敬具

ラナースクラブ書記

Leif Repsholtさんからのお便り  
(鈴木 茂ワイズ 訳)



《被災地支援》 今月のバースデーカード

先月号でご紹介した、当クラブTKB (Tsuzuki Kawaii Bachans) が福島県の「原町聖育こども園」に送るカードができました。毎月、その月に誕生日を迎える子供一人一人の名前を書いたカードをお届けします。一日も早く東北の地にも春が訪れるよう、春のシンボル”チューリップ”をテーマにしました。

先般来、一部では避難指定地域の解除が行われていますが、福島県の皆さん、特に子どもたちが、本当に安心して日々を送ることができる日が一日も早く来るようお祈りしつつカードを作っています。  
(TKB)



